



霧のむこうのふしぎな町

柏葉 幸子/作 杉田 比呂美/絵 講談社

ピエロのえがついたかさをおいかけていくと、あたりはきりの中。一歩ずつすすむたびにきりがはれていく。そこでリナが見たけしきは、まるでがいこくのようにだった。



うみのにじ

こわせ たまみ/詩 北田 卓史/絵 国土社

「だれか うみにかけた にじの にじの すべりだ い」優しい言葉と暖かい絵で、くらしの中の素直な思いが伝わってくる10篇の詩が収められています。

としょかん 図書館からのお知らせ

「よんでみませんか」・「課題図書(小学生向け)」は、夏休み中に読みたい人がたくさんいます。「リクエストの本が用意できました」という連絡がきたら、3日以内に借りにきてください。

【貸出期間】

「課題図書(小学生向け)」……1週間

「よんでみませんか」……2週間

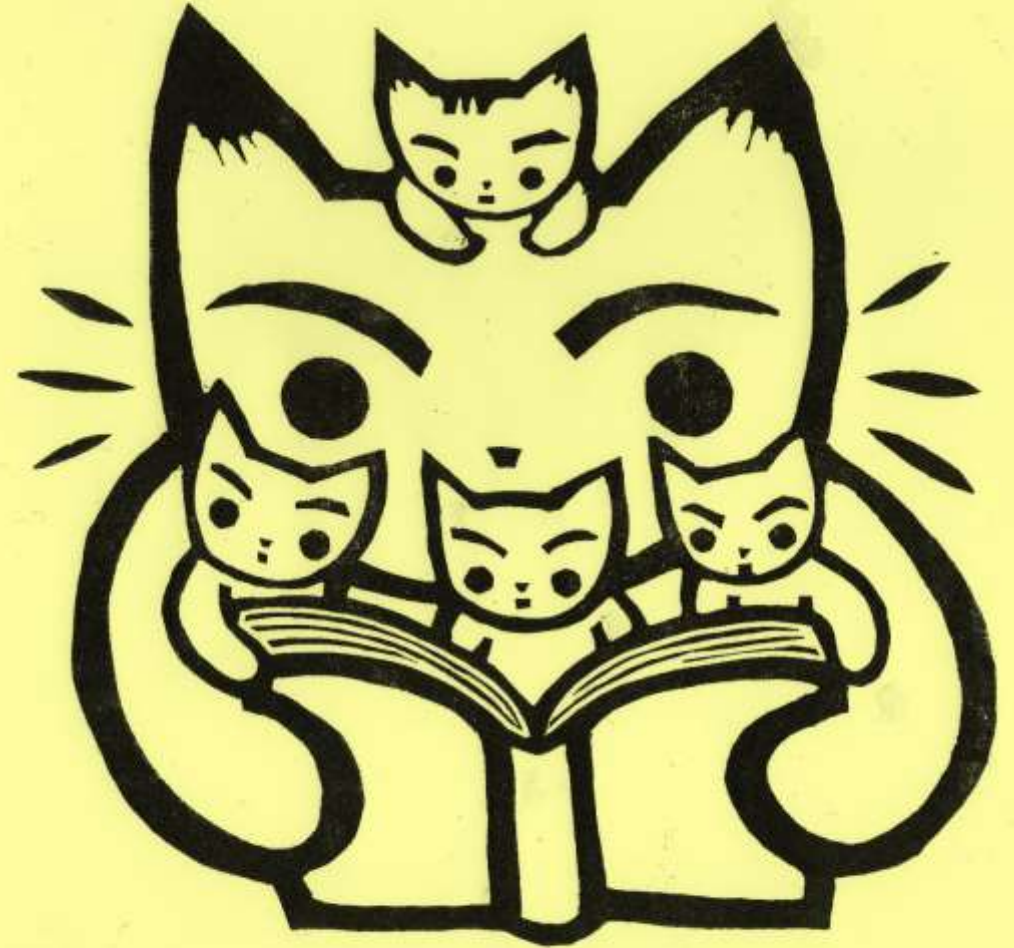


表紙と裏表紙 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346
<http://toshokan.city.kashiwa.lg.jp/>

よんでみませんか



3・4ねんせいのみなさんにすすめる本

2019年

かしわしいつとしょかん



てのひら島はどこにある

佐藤 さとる / 作 池田 仙三郎 / 絵 理論社

春のにちようびのことです。どこかのおばあちゃん
が、おさげをあんた小さい女おんなの子をつれて、町まちはずれ
のみちへ、つみくさにきていました。そして、おばあち
ゃんは、てのひら島しまのはなしをはじめました…。



ももたろう

松居 直 / 文 赤羽 末吉 / 画 福音館書店

むかしのこと。おばあさんが、川にながれてきたもも
をもちかえると、なかから、おとこのこがうまれました。
ももたろうとなづけられたおとこのこは、おおきく
なって、おにたいじにいくことになりました。



ひゃくさんじゅうはちおく

13800000000ねんきみのたび

坂井 治 / さく・え 光文社

おおむかし、きみはたったひとつのげんしだった。
きみがうみをみるとうきうきするのは、そとへでるとか
けだしたくなるのは、もしかしたら…。人間にんげんの長い歴史れきし
の旅たびをたどっていこう。



野うさぎのフルー

リダ・フォシェ / 文 ロジャンコフスキー / 絵 童話館出版

ひとりぼっちの野うさぎ、フルーは、神さまからもら
った三つの贈りおくりものをつかって、たくましく生きていま
した。そんなある日、フルーの巣穴すあなに見たことのないう
さぎが飛び込んできます。



私はどこで生きていけばいいの？

ローズマリー・マカーニー / 文 西田 佳子 / 訳 西村書店

ふつうの人びとにも、大きな災難さいなんがふりかかることが
あります。戦争せんそうが起こったり、住んでいる場所ばしょに危険が
せまったりすると家族みんなで荷物かそくをまとめ、安全な
場所ばしょをもとめて、旅立たびだたなければなりません。



ぼくのなまえはへいたろう

灰島 かり / 文 殿内 真帆 / 絵 福音館書店

「ぼくはおこってる。」なまえをよばれるたびに、わ
らわれてきたんだ。どうして、こういうなまえをつけた
んだ?! なまえってなんだろう? なまえについて考
えてみよう。



地球を旅する水のはなし

大西 健夫・瀧澤 彩 / 文 曾我 市太郎 / 絵 福音館書店

水は、すがたを変えながら旅をしている。
雨がふり、地面じめんへながれ、水があつまって、川や海になる。
森から海へ、海から空へ、空から地面へ…。
水はかたときも休まずに地球をめぐっている。



金のがちょうのほん 四つのむかしばなし

フルック / 文・画 瀬田 貞二・松瀬 七織 / 訳 福音館書店

家族かぞくからばかにされていたすえむすこは、ある日もり森で
小人こびとに出会い、親切しんせつにしたお礼れいに金のがちょうをもらい
ます。金のがちょうの羽はねがほしい人たちが、羽をとろう
とすると…。他三つのむかしばなし。